

保守運用を自動化・効率化する！

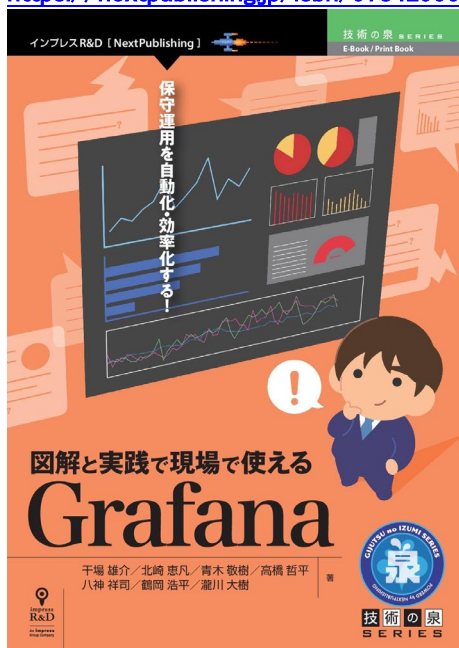
『図解と実践で現場で使える Grafana』発行

技術の泉シリーズ、12月の新刊

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、『図解と実践で現場で使える Grafana』(著者:干場 雄介,北崎 恵凡,青木 敬樹,高橋 哲平,八神 祥司,鶴岡 浩平,瀧川 大樹)を発行いたします。

最新の知見を発信する『技術の泉シリーズ』は、「技術書典」や「技術書同人誌博覧会」をはじめとした各種即売会や、勉強会・LT 会などで頒布された技術同人誌を底本とした商業書籍を刊行し、技術同人誌の普及と発展に貢献することを目指します。

『図解と実践で現場で使える Grafana』
<https://nextpublishing.jp/isbn/9784295601487>



著者:干場 雄介,北崎 恵凡,青木 敬樹,高橋 哲平,八神 祥司,鶴岡 浩平,瀧川 大樹
小売希望価格:電子書籍版 2,500 円(税別)／印刷書籍版 3,200 円(税別)
電子書籍版フォーマット:EPUB3
印刷書籍版仕様:B5／カラー／本文 202 ページ
ISBN:978-4-295-60148-7
発行:インプレス R&D

<<発行主旨・内容紹介>>

運用保守業務はいわゆる「コストセンター」と呼ばれ、サービスやシステムの信頼性を高める活動や付加価値を創造する活動にもあまりコストを掛けられません。本書は日夜、自動化・効率化に取り組む際、共通のオープンソースアプリケーション Grafana(グラファナ)を使用して行なった時系列データの分析、インタラクティブな可視化および監視の実現など、課題解決の事例をまとめたものです。

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています。)

<<目次>>

- 第1章 Grafana のメリット
- 第2章 実機設定に向けて
- 第3章 Grafana 7.5.15 / 8.3.5 で追加されたセキュリティー対策で発生する問題を回避する
- 第4章 オムロン環境センサーで測定したデータを可視化する
- 第5章 Google スプレッドシートと連携する
- 第6章 Grafana 画面作成入門
- 第7章 Grafana 画面を一括変更しよう
- 第8章 Grafana ヒヤリハット集&回避策
- 第9章 バージョンアップの苦労話
- 第10章 ダッシュボードガイドラインを作ろう
- 第11章 Elasticsearch のデータを Grafana で可視化

<<著者紹介>>

干場 雄介

中堅システム会社で PC やサーバのキッティング、客先の少数情シスへの常駐などを経て、2013 年から通信会社に勤務。携帯事業に附随したサービスのサーバ運用に従事し、2018 年頃から、Grafana と Zabbix によるサービスリクエストの可視化で運用改善を推進。継続的な普及活動に成功し、運用部門全体で活用される。OSS を組み合わせて、システム運用業務を楽にできないかと常に思案中。

北崎 恵凡

20 年にわたって ISP と携帯事業にてメッセージングサービス、システムの設計・開発・運用・保守に携わる。社外では迷惑メール対策委員会、迷惑メール対策推進協議会、インターネット協会客員研究員、JPAAWG メンバーなど、安心・安全なコミュニケーションが提供されるために精力的に活動。趣味でモノづくり、コミュニティ活動や技術書の執筆や月刊誌への寄稿を行う。

青木 敬樹

学生時代は機械工学を専攻、三次元画像の特徴量抽出に関して研究。2021 年に通信会社に入社。入社後はサーバ・インフラの保守運用業務を担当。社内の「プロアクティブな運用」の推進チームの一員として活

動し、運用可能な自動化を実現するために日々勉強中。

高橋 哲平

学生時代は電気/情報分野を専攻。大学院では画像圧縮分野の研究を新規で立ち上げ、可逆圧縮アルゴリズムの最適化を追求。2015 年より通信会社にてサーバ/アプリケーション保守運用業務を担当。通信設備の安定稼働維持に注力する傍ら、GAS を始めとした自動化/RPA 推進や、Django/Nuxt.js を用いた業務改善 Web アプリケーション開発等にも従事。

八神 祥司

学生時代は画像処理分野を専攻し、C 言語や Python を用いて Depth 画像から人の 3 次元体系推定を行う技術を開発。2015 年より通信会社にてサーバ/アプリケーション保守運用業務に従事。保守運用業務に注力する傍ら、IoT 関連のシステム開発や社内資産運用のマーケットアナリスト業務など様々な業務を経験。

鶴岡 浩平

学生時代は電気工学を専攻。情報系ではなかったため殆ど経験ゼロの状態です。2014 年に通信会社に入社。入社後はサーバ及びアプリケーション保守運用業務を担当し、お客様のサービス継続性を維持するために日々保守運用業務に注力している。プログラミングについても学生時代には経験がなかったため、業務を通して現在も鋭意勉強中。

瀧川 大樹

学生時代は社会情報学を専攻、推薦アルゴリズムについて研究。強調フィルタリングとコンテンツベースフィルタリングを組み合わせた独自のアルゴリズムを考案、LAMP で実装。研究の傍ら、データセンターのアルバイトでサーバの保守運用業務を経験。2014 年より通信会社にてサーバ/アプリケーション保守運用業務に従事。情報処理安全確保支援士の資格を取得し、システムのセキュリティ管理業務にも従事。

<<販売ストア>>

電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple Books、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER、BOOK TECH

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

<<技術の泉シリーズについて>>

『技術の泉シリーズ』は、技術者の知見のアウトプットである技術同人誌を底本とした、2017 年創刊の技術書シリーズです。NextPublishing によるスピーディーな編集制作とプリントオンデマンドによる 1 冊からの印刷製本により、技術の変化に追従しつつ返品や品切れのないサステナブルな出版モデルを特徴としています。本シリーズを通じて、エンジニアの“知の結晶”である技術同人誌の世界に、より多くの方が触れていただくきっかけとなることを目指しています。



【インプレス R&D】 <https://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井芹昌信)は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

TEL 03-6837-4820

電子メール: np-info@impress.co.jp